

【10月の休館日】
1日(木) 6日(火) 13日(火)
20日(火) 27日(火)
毎月1日・毎週火曜日は休館です。
※感染症の拡大状況により、開館
内容を変更する場合があります。

福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-17:30 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



ふくちのちイベント

◆上映会 大人向け ☎
「命みじかし恋せよ乙女」
10/10(土) 14:30-16:35

◆スタッフのおはなし会①
10/11(日) 11:00-11:30

◆田川巡回人権パネル展
「ふつうの性」ってなんだろう?
～性の多様性と人権～
期間▶ 10/15(木)～26(月)
場所▶ 1階ワクワク広場
入場▶ 無料

◆上映会 子ども向け ☎
「Donald Duck」
ドナルドの少年団長」
10/17(土) 14:30-15:35

◆スタッフのおはなし会②
10/18(日) 11:00-11:30

◆スタッフのおはなし会③
10/25(日) 11:00-11:30

イベントが中止に
なる場合があります。
皆さまのご理解を
お願いします!

☎…要申込

ふくちのち利用者さん!お待たせしました♪ 「としよパン」が営業を再開

休業中の「としよパン」が、ついに営業を再開します。当面は金曜、土曜、日曜日の3日間、16時まで営業。皆さんのご来店をお待ちしています。



→マフィン・パン・飲みもの・焼き菓子等を販売。

お持ちの図書カードを確認しましょう! 「図書カード」更新の案内

図書カードの有効期間は、町内在住者は、登録から3年間です。3年を経過するたび、現住所の確認をして、カードの更新を行います。

更新に必要な書類

- 1 図書カード
- 2 住所・氏名が確認できる公的書類
▶本人宛の公的郵便物・運転免許証・健康保険証・学生証など

古上野から約400年の歴史を学ぶ 秋の企画展「上野焼」

上野焼協同組合主催の「あがのやき de 家食・家飲みキャンペーン」に合わせ、福智町が所有する寄贈品・古上野などの資料を特別に公開。展示で上野焼の歴史と魅力を学んだ後は、ご自宅の食卓を豊かに彩る器を各窯元で探してみませんか。

入場▶ 無料
期間▶ 10月2日(金)～
場所▶ 1階 企画展示室



新着本

野菜たっぷり具だくさんの
主役サンド 150
エダジュン/著(誠文堂新光社)
園芸道具の選び方・
使い方「コツ」の科学
園芸文化協会/著(講談社)

純喫茶パオーン
椰月美智子/著(角川春樹事務所)
全国とおきの
お取り寄せカタログ
朝日新聞出版/編者(朝日新聞出版)

児童書

おばけのジョージと
さわがしいゆうれい
ロバート・ブライト/作・絵(徳間書店)
はやしでひろったよ
大久保茂徳/監修(ひさかたチャイルド)

おむつのなか、
みせてみせて!
ヒドファン・ヘネヒテン/文・絵(バイインターナショナル)
小学うんこ英単語 1500
古屋雄作/作(文響社)

福智の風

▶今月号で初の特集を担当。「ついにきたか!」と不安と楽しみが入り混じった9月初旬でした。そして校了をむかえ、企画や取材の数など全てが難しく大変だとひしひしと感じています。今回の特集でたくさんの人にお世話になり、また助けてもらいました。今月号が私にとって大きく成長でき、忘れられない号になりました。(世良)

▶プロ野球界で活躍した野村克也監督は著書で「財を残すは下、事業を残すは中、人を残すを上とす」と記していました。私がこの言葉と初めて出会ったとき、この意味の深さを理解できませんでした。今月を経験してその意味が少しだけわかった気がします。私もいずれは人を残せるような人材になりたいと思います。(藤本)



DATE: Oct.2020
NO: 026

●細川忠興公が愛した洗練美 古上野(舟徳利)



国指定伝統的工芸品「上野焼」の原点
文禄・慶長の役を契機に豊前小倉藩主・細川忠興が李朝陶工・尊楷を招き、1602年に「上野焼」を開きました。町が所有する開窯当時に作陶されたと考えられる「古上野」には、大名茶人としても名高い忠興(三斎)が好んだ格式高い作風が現れています。

四季の歌

心映の投句 俳句・短歌教室の詠歌紹介

はな俳句会

岩井鬼童選

爽やかに雀夫婦とあいさつす
七夕や願ひさまま笹の影生き
てるるやうに声かけ墓洗ふ
誰も来ず何処へも行かぬ残暑かな
青春を捧げし亡夫や終戦忌

植木 チエ
福島ソマコ
馬郡 京子
藤本 鈴子
山田 花子

方城句会

自選

若狭國遠敷郡の秋の風

藤井耿之介

落の墓句会

互選

雨上がり見上げた先に二重虹
猫じゃらし面影ひとつ枯れる頃
常立寺ぬか雨に満ち白き百合
又か 愛翔か
詫び心伝ふに遠し芋殻の火
窮すれば歳時記漁る瀬祭忌
簗の色無き風を耳に受け
合はせ持つ二つの心星今宵

春 しょう
婆ニヤン
想 せう
檜 幽可
大井 良治
落合 東太
藤井耿之介
宮崎富美子

うり坊は濡れた斜面をすべそすべそ
すこやかに老いてもものぐさ生身魂
マスク越し目線で挨拶酷暑哉
高津 澄子
建部三由紀選

ハンガーに今日の残暑を吊しけり
仇討ちは浪士の忠義菊供養
吾子の夢覗いて見たし星月夜
田の神を乗せて漕ぎ出す稲穂波
友忍び白髪ふえゆく秋の風
荒れし庭老の手仕事小鳥来る
先見えぬコロナ禍如何に生く秋か
スコールに島の水牛遅々と行く
炎昼は不要不急とつぶやけり
曲ることよろこぶ流れ草茂る
台風のせいで休みが退屈だ
天地澄む神話の里は星の郷
松岡 萬枝
岩井 童子
西田 真美
桂 啓子
清原サヨ子
二宮 正人
倉石嘉代子
桑野 京子
加藤きみ子
小野 美幸
小西田 芽生
選者 吟